

令和4年版 出題基準対応

歯科衛生士国家試験

直前マスター④

赤い
チェックシート
付き

チェックシートでカンペキ!

主要二科



歯科衛生士
国試問題研究会編

医歯薬出版株式会社



01

概要

1 歯科衛生士法 ★★

第2条 この法律において「歯科衛生士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、歯科医師（歯科医業をなすことのできる医師を含む、以下同じ）の指導の下に、歯牙及び口腔の疾患の予防処置として次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

- 一 歯牙露出面及び正常な歯茎の遊離縁下の付着物及び沈着物を機械的操作によって除去すること
- 二 歯牙及び口腔に対して薬物を塗布すること

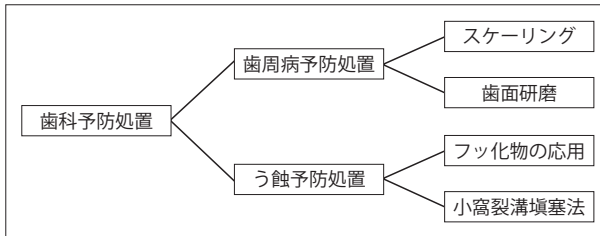


図 歯科予防処置

・歯科予防処置は、歯科医師および歯科衛生士の業務独占である。 (CP)

2 予防の概念 ★★

1) う蝕の予防レベル¹⁾

第一次予防		第二次予防		第三次予防
健康増進	特異的予防	早期発見・即時処置	機能喪失阻止	リハビリテーション
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生教育 ・栄養指導 ・育児指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物応用 ・小窩裂溝填塞 ・間食指導(代用甘味料, サプリメント) ・口腔清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・精密検査 ・フッ化ジアンミン銀塗布 ・MI Dentistry * 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯内療法 ・修復 ・抜歯 	<ul style="list-style-type: none"> ・補綴装置による喪失歯の機能回復 ・摂食嚥下訓練

* MI (Minimal Intervention) Dentistry: 必要最小限の侵襲 (投薬・注射・手術などの医療行為) を意図した歯科医療。

5) インプラント用プローブ

- ・ プラスチック製で、プロービング深さの測定と、軟組織からの出血の有無を確認する。

3 プラーク・歯石の検査 ★★★

1) エキスプローラー〈探針〉



図 エキスプローラー¹⁾

(1) 使用目的

- ① プラークや食物残渣の探査
- ② 歯肉縁上歯石や歯肉縁下歯石の有無，硬さの探査
- ③ 歯根面の形態の探査
- ④ 歯の表面粗さや段差の把握
- ⑤ スケーリング後の評価

(2) 基本操作

- ・ 執筆状変法で、先端1～2mmを歯面から離さないようにし、2～3mmで移動させる。
- ・ 固定は探査部位の隣接歯，または口腔外とする。

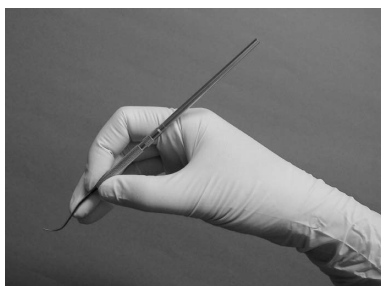


図 エキスプローラーの持ち方(執筆状変法)¹⁾



01

基礎知識

1 う蝕予防処置とは ★★

- ①フッ化物局所応用→歯質強化が目的
- ②小窩裂溝填塞→歯冠の形態修正が目的

2 う蝕の原因 ★★★

- ・う蝕の原因として、口腔細菌、発酵性糖質、宿主と歯が基本的要因であり、その他、社会的環境要因、保健行動要因などが関わる。

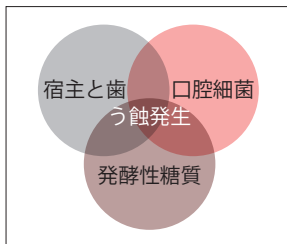


図 Keyesによるう蝕の発生要因

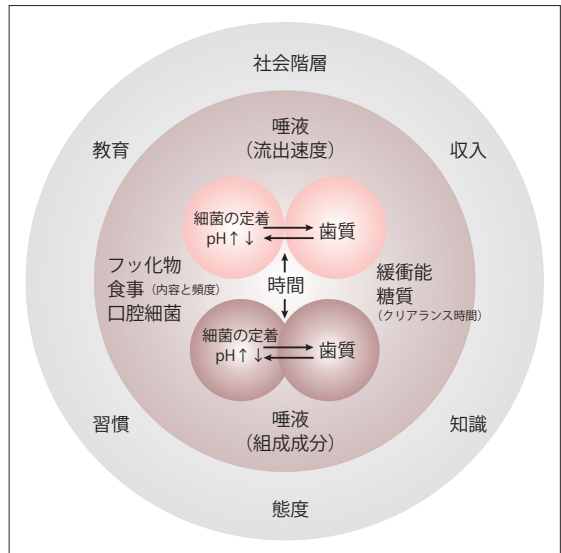


図 Fejerskovによるう蝕の発生要因

1) 口腔細菌

- ・ミュータンスレンサ球菌<Streptococcus mutans, Streptococcus sobrinus>
- ・酸産生能が高く、不溶性グルカンなど菌体外多糖類を産生する。

2) 発酵性糖質

- ・スクロース (ショ糖) が最もリスクが高い。
- ・乳酸などの有機酸を産生し、臨界pHを下げる。



1 特別な配慮を要する対象 ★★★

対象	特徴・歯科の問題点	指導のポイント
妊産婦期	つわり：口腔不潔によるう蝕や歯周病の増悪， <u>妊娠性歯肉炎</u> ， <u>妊娠性歯肉腫（エプーリス）</u> ， <u>妊娠高血圧症候群</u> ，出産前後の治療途中や通院困難。	つわり時のブラッシング，生まれてくる赤ちゃんに関わる口腔衛生の知識伝達と食生活指導，産後の定期検診の勧め。
基礎疾患（高血圧症）	収縮期血圧（140mmHg）以上，または拡張期血圧（90mmHg）以上（診察時），不安や痛みで血圧変動しやすい。	薬剤副作用による <u>歯肉増殖症</u> への対応（ブラークコントロールの徹底で症状の軽減）。
基礎疾患（脳血管疾患）	脳梗塞，脳出血が代表的で， <u>ワルファリン</u> 等の抗凝固薬を服薬している場合があるため <u>易出血性</u> ， <u>易感染性</u> 。	後遺症等の状況に合わせた口腔のケアが必要， <u>観血</u> 処置後のホームケアでも出血に注意が必要。 <u>誤嚥</u> に注意。
基礎疾患（心疾患）	心筋梗塞，狭心症など，歯科領域の痛みが発現することがある。	観血処置後のホームケアでも出血に注意が必要。
基礎疾患（糖尿病）	<u>インスリン</u> 分泌障害による高血糖状態， <u>歯周病</u> の増悪，易感染性，易出血性。	<u>血糖コントロール</u> を歯周治療と並行して行う必要がある。食生活指導とブラークコントロールの徹底が重要。
高齢期	身体機能の低下，多病・多剤， <u>個体差</u> が大きい， <u>非定型</u> 疾患，通院困難。	口腔状況や機能の状況に合わせた指導，必要に応じて介護者へも指導，効率的な清掃用具の提案。

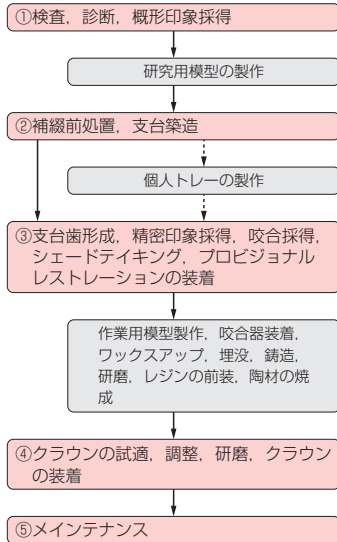
妊娠初期のつわりのある妊婦への対応がよく出題されるよ。歯ブラシを小さめのものにしたリ，ニオイに過敏になっていけば歯磨剤の量を少なくしたりして，無理せず口腔の清掃を維持できるよ対象者の状況に応じて提案していくにゃ。



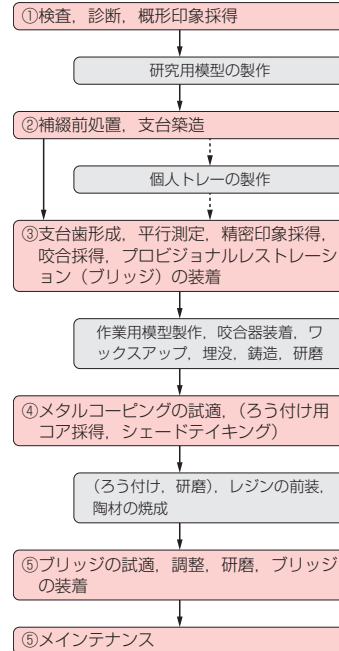


1 クラウン・ブリッジ治療の流れ ★★★

1) クラウン治療



2) ブリッジ治療



2 クラウン・ブリッジ装着時の流れ ★★★

手順	使用器材
①模型上での確認	基本セット、手鏡
②プロビジョナルレストレーションの撤去	ストレートハンドピース、カーボランダムポイント、研磨用シリコーンポイント、コンタクトゲージ、咬合紙、咬合紙ホルダー、デンタルフロス、クラウンセッター、合着セメント、スパチュラ、紙練板、照射器、金属接着性プライマー、歯質ボンディング材、セラミックプライマー
③クラウンブリッジの試適・調整 ・隣在歯との接触状態 ・辺縁および内面の適合度 ・咬合状態	
④仮着あるいは合着	
⑤患者指導	